

## 株式会社ミュージックバード 第61回番組審議会議事録

1. 開催日時 平成26年3月25日(火) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室

### 3. 出席者

◆番組審議会委員

- ・矢内 廣 委員長
- ・松尾 修吾 副委員長
- ・福本 ゆみ 委員
- ・佐野 光徳 委員
- ・村井 裕弥 委員
- (ご欠席：中西 健夫委員)

◆放送局

- ・一瀬 社長
- ・雄谷 常務
- ・江森 技師長
- ・岩崎 プロデューサー
- ・田中 プロデューサー
- ・事務局 高木

### 4. 議事概要

今回は、THE CLASSIC チャンネルの特別番組「サイトウ・キネン・フェスティバル松本スペシャル 2013 村上春樹と小澤征爾が生んだ、大西順子との奇跡の一夜～サイトウ・キネン・フェスティバル松本Gig」(2013年12月21日<日>22:00-24:30 出演：悠雅彦 [音楽評論家]、インタビュー・ゲスト：大西順子 [ジャズ・ピアニスト]) について審議が行われた。

- ・当番組は、大西氏の引退に反対した小澤氏が、サイトウ・キネンでの「ラブソディー・イン・ブルー」の共演を大西氏に提案したことで実現したコンサートの模様を聴きながら、大西氏本人を招き、エピソードの真相を聞いたもの。当社では2008年からサイトウ・キネン・フェスティバルの放送権を獲得、いち早く放送している。当社のキラー・コンテンツとして、ザルツブルク音楽祭やウィーン・フィルの定期演奏会などのライブ音源を放送しているが、この「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」もそのうちのひとつである。
- ・インタビュー内で、大西氏の廃業の主な理由が経済的なものであることが明かされた通り、現在の音楽ビジネス界の苦境にはかなり深刻なものを感じる。

ということが放送局側から説明され、これに対して委員からは、

- ・この録音はまさに「ホールの中でやっているジャズ」という感じがよく出ている。
- ・こういった素晴らしいライブ音源の放送をしているのだということをもっと多くのクラシック・ファンに知ってもらいたい。宣伝が足りていないのではないか。
- ・古典芸能は国が予算をつけて応援しているが、クラシックもジャズも同様なことが必要になってきているのかもしれない。
- ・大西氏ほどのアーティストが廃業を余儀なくされるような恐ろしいことが起きているのだと戦慄を感じる。ただ、今回のサイトウ・キネンのように少し異なるものを掛け合わせればコンサートが満員になるということは、何かしらの「アイデア」が必要だということかもしれない。

等の意見・助言があった。局からは

- ・このライブに対するお客様の拍手に、かなり温かいものを感じる。ジャズもクラシックもお好きな方がこんなにいらっしゃるというところで、まだチャンスがあるのではないかという思いもある。現在の音楽界の苦境に対して、当社も何かしらの貢献をしたいと願っている。

との考えが説明された。